

中西だより

平成29年1月31日
練馬区立中村西小学校
No. 10 (2月号)

夢

副校長 鈴木 祐一

昨年の5月、舞台演出家の蜷川幸雄氏が亡くなりました。世界でも活躍し「世界のニナガワ」と呼ばれる演出家なのはご存じのことと思います。この蜷川氏、苛烈な演技指導の厳しさでも知られ、「口よりも手よりも先に、物（特に靴）が飛んでくる」と言われ、スパルタ演出家のイメージが強いですが、しかし、人情的で心優しく、「周りにだけでなく、同じ様に、自分に対しても厳しい」姿勢で仕事をするので、数多くの俳優やスタッフから慕われていたそうです。

蜷川氏は、2006年に年齢55歳以上48名を集め、演劇集団『さいたまゴールド・シアター』を発足させました。結成から10年が経つと、パリ・香港ほか、海外からも招聘され、世界が注目する劇団へと大きく育ちました。

昨年の暮れに、蜷川氏の「高齢者にも、もっと外に出て輝いて欲しい！」という遺志を受け継ぎ、埼玉スーパーアリーナで「老人の夢」をテーマに、演劇未経験者も含め、60代から90代の約1,600人の出演者とともに創作する大群集劇が上演されました。演目は『『金色交響曲～わたしのゆめ、きみのゆめ～』『ロミオとジュリエット(W.シェイクスピア作/松岡和子訳)』より』です。

幕が開くと、老人施設の生活の様子からはじまります。

アリーナ全体が舞台です。テレビを見ている人、雑談しているグループ、レクレーションなど生活の様子を演じています。すると、スポットライトが当てられ、ひとりずつ思い思いの夢を述べはじめます。「パラグライダーで空を飛びたい」「世界一周旅行をしたい」などなど。

夢を述べ終わると、こまどり姉妹が登場し『恋に拍手』の歌に併せてダンスがはじまります。そして、『ロミオとジュリエット』の世界になりました。

アリーナ全体を使つての迫力のある両家の争い、4カ所のバルコニーを使つての愛を囁く場面、数百人舞踏会の社交ダンス等、一体となって演技しています。同じ台詞なのですが、大きな声を張って台詞を言う人、語りかけるように演技する人、その人の個性があふれ出ていました。

最後に、一人の女性が話し出します。「私は、この機会を通して親しい人ができました。恋かもしれません。私の夢は・・・。」ということばで、終演となります。

夢をもつとその実現のために、目標が生まれます。何歳であろうとその思いは同じです。今回の出演者一人一人が生き生きと演技しているのを見て、私は、夢をもつ大切さを教わり、心が温かくなりました。本校の子どもたちに夢をもつ大切さを伝えていきたいです。

2月行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1/29 小中連合書きぞめ展	30 校区別協議会のため4時間授業	31	2/1 安全指導日	2 児童集会 クラブ活動(展示準備) 持久走旬間終	3 中村中出前授業(6年) クラブ展示始 校内書きぞめ展終	4
5	6 全校朝会 馬頭琴演奏会(2年・56校時)	7	8 研究授業のため 5-2 以外は午前授業	9 たてわり班活動 委員会活動 東京都立学校美術展覧会～2/14	10	11 建国記念の日
12	13 全校朝会	14 新1年生保護者会	15 教育会研究発表会のため 4時間授業	16 クラブ活動・終(発表・片付け)	17 6年生を送るスポーツ大会(56年)	18
19	20 全校朝会 お誕生日給食	21	22 音楽朝会 お米の学校(5年)	23 委員会活動	24 6年生を送る会(34校時) たてわり班交流給食	25
26	27 全校朝会 地区班長会(5年新班長)	28	3/1 避難訓練(集団下校・5校時)	2 児童集会	3 保護者会(1年～5年)	4

2月の生活目標

ともだちとなかよくすごそう